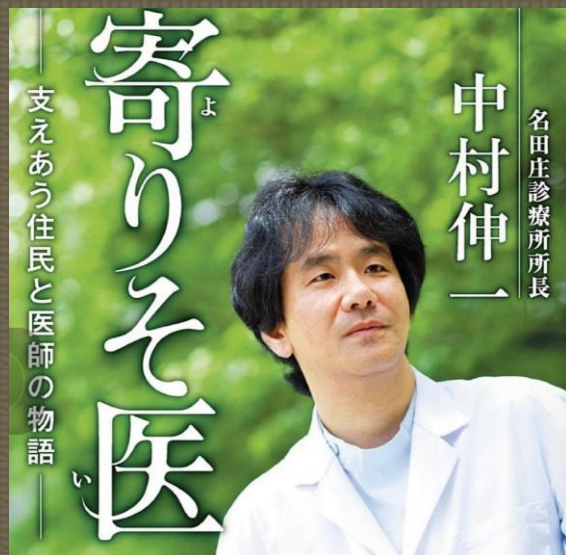


令和4年度 救急医療講演会



事前申込要
(9/4〆切)

参加
無料

元気なうちから始めよう ～サヨナラの準備～

福井県名田庄診療所所長 中村伸一先生が語る地域医療再生のキーワードとは？
生きて逝くノート（エンディングノート）の意義とは？

事前申込期間：8月1日～9月4日

参加申込書（申込先：尾鷲保健所 FAX 0597-23-3449）		
	参加者氏名	住所（市町のみ）
1		
2		
3		

↑ 当参加申込書は、会場（尾鷲市立中央公民館）へ参加を希望する場合のみ使用できます。



☞ スマホで申込み

↓ パソコンで申込み

<https://www.shinsei.pref.mie.lg.jp/uketsuke2/dform.do?acs=99kouenkai>

元気なうちから始めよう ～サヨナラの準備～

人口減少、過疎高齢化、医師不足など地域医療を取り巻く情勢は大変厳しいものがありますが、当講演会の先生には名田庄での実践を通して、その対応策などについてのヒントを、また、講演テーマである「生きて逝くノート(エンディングノート)」の意義について、お話し頂く予定です。

どなたでも無料で参加できますので、当チラシの参加申込書 又は ネットから、事前申込み(9/4〆切)の上、お気軽にご参加ください。

なお、会場への参加申込者数が多数になったときは、入場をお断りする場合があります。

●日 時 令和4年9月11日(日) 午後2時～

●場 所 尾鷲市立中央公民館(尾鷲市中村町 10-41)

【Zoom視聴も可能 ID: 825 005 5804】

●講 師 中村 伸一 先生

(福井県おおい町国民健康保険名田庄診療所所長)

プロフィール: 1963年福井県生まれ、28歳で人口約3千人の福井県名田庄村(現おおい町名田庄地区)にただ一人の医師として赴任。以後約30年の間、総合医として、またある時は保健医療福祉総合施設”あつとほ～むいきいき館”のジェネラルマネージャー兼保健福祉課長(行政職員)として、地域医療の多岐にわたる分野を同時進行で精力的に取り組まれ、旧名田庄村の老人医療費や第1号介護保険料を福井県内で最も低いランクに抑えることを実現されています。

医療再生へのキーワードは「絆」、地域再生のキーワードは「地域絆力」であるとし、講演や本の出版などを通して、日本全体が名田庄のような絆を大切にす社会になるようにと『全日本名田庄化計画』を推進中。

NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」で地域医療のスペシャリストとして紹介され、著書にはドラマ「ドクター」の原作にもなった「寄りそ医 - 支えあう住民と医師の物語 -」や「自宅で大往生」などがあります。

主 催 : 東紀州地域尾鷲地区救急医療対策協議会

紀北医師会、尾鷲歯科医師会、紀北薬剤師会、尾鷲市、紀北町、三重紀北消防組合、尾鷲総合病院、尾鷲警察署、尾鷲保健所

お問合せ(申込先) : 事務局 尾鷲保健所 電話 0597-23-3446
E-mail ohoken@pref.mie.lg.jp

『全日本名田庄化計画』とは?

医療再生へのキーワードは「絆」

地域再生のキーワードは「地域絆力」

生きて逝くノート

＝著書＝

「寄りそ医 - 支えあう住民と医師の物語 -」

「自宅で大往生」